

# 光一中だより

## 教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校  
校長 山谷 安雄  
令和4年度 第2号  
令和4年5月10日

## 人は3つのことから学ぶ

校長 山谷 安雄

入学、進級して、一カ月がたちました。新型コロナウイルス感染症の感染者数が徐々に少なくなり第6波も下火になり始めた気がします。学校生活も少しずつ以前の教育活動に戻りつつあります。運動会も規模を縮小して、6月4日（土）の実施に向けて練習がスタートしたところです。

さて、ある本の冒頭に興味深い内容が書いてありましたので紹介します。

よく、日本は生産性が低いといわれています。その理由を考えると、次の2名の編集者の働き方をみると何となく見えてきます。Aさんは朝8時に出勤して、夜10時まで働きます。昼食も、自分の席でサンドイッチをかじり、仕事に励んでいます。しかし、考え方に柔軟性がなく、いい本を生み出すことができません。

一方、Bさんは朝10時くらいに出勤し、スタバで誰かと話をしています。そのままお昼を食べて会社には帰ってきません。夜は6時になったら飲みに行って、会社には戻りません。しかし、たくさんの人に会ってアイデアをもらっているのです。ベストセラー本を年に3回くらい出します。

昔は、人口も増え続け、モノをたくさんつくって売っていた時代でした。なるべく長時間働いてたくさん生産するほうが会社等に貢献した事になっていました。今は、どうでしょうか。たくさんつくっても売れるとはかぎりません。売るための工夫や他のものとの違いが必要になってきます。労働時間の多さや生産量だけでは評価できない時代になりました。

そこで、自分の価値というか個性を育てていかなければなりません。そのために「仕事を早く終えて、人に会ったり、本を読んだり、時には旅したりと、脳に刺激を与えないと、画期的なアイデアは生まれません」まとめると、人は3つのことから学ぶということです。その3つとは「人、本、旅」です。

「人から学ぶ」とは、職場のなかでの学び、それから職場の外との学び、両方とも大事です。話しているときに、自分の考えがまとめられたり、今まで気付かなかったことに気付いたりします。

「本から学ぶ」とは、過去の反省や歴史上の失敗などを学ぶのに豊富な情報が本（書籍）には詰まっています。しかも安価でアクセスしやすいし、人と会って話を聞いてもいいのですが、その人の都合があります。読書にはそういった心配はありません。

「旅から学ぶ」とは、旅行という意味だけでなく、気になる現場に出かけていくことを指しています。事件は会議室で起こっているのではなく、現場で起こっているということです。

すべての職場がこのような人を求めているわけではありませんが、クリエイティブな創造性を求められている職種は、一生懸命働くだけでは評価がなかなか上がらないということです。プラスアルファが大事であるということです。新しい学習指導要領が求めているのはある意味でこのような学びではないでしょうか。しかし、基礎基本がないといくらクリエイティブであっても社会に通用しないのではと心配して、今まで通りの詰め込み教育が強調されてしまいます。しかし、覚えることは否定しているわけではありません。当たり前なことを当たり前に行ったうえで、自分の価値を高めるということではないでしょうか。